

内閣官房長官祝辞

本日ここに、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、歯科技工士法制定ならびに日本歯科技工士会創立五十周年記念大会が挙行されますことを、心よりお慶び申し上げます。

日本歯科技工士会は、口腔保健医療を担う医療専門職種の団体として、これまで、口腔機能の維持・回復といった歯科医療の一翼を担い、わが国の歯科医療を着実に推進されてこられました。

皆様方のこれまでの御尽力に対しまして、深く敬意を表しますとともに、今後一層の御努力をお願いいたします。

現代人は、食事にかかる時間も短く、噛む回数も少なくなっております。しっかりよく噛んで食べることは、全身の健康にとって重要であるとともに、表情も豊かになり、また、脳の働きも活性化させるといった効果があると伺っております。国民が生涯を通じて豊かに暮らし、健康の維持・増進を図る上で、歯の健康を保つことは必要不可欠であります。

政府としても、食生活を支える口腔機能の維持・向上を通じた健康づくりを推進するとともに、食を通じた子供の健全育成、よく噛んで食べる重要性、いわゆる「食育」などにも積極的に取り組んでまいります。

終わりに、会員の皆様方の御健勝と御活躍をお祈りいたしますとともに、日本歯科技工士会が国民の信頼と尊敬を集める団体として一層飛躍されますことを御期待申し上げます、私のお祝いの言葉といたします。

平成十七年九月十八日

内閣官房長官 細 田 博 之